



中央右奥がL8峰 6020m

JAC 学生部ザンスカール遠征隊 2017

計画書

Japanese Alpine Club Student's Zanskar Expedition 2017

主催： 公益社団法人日本山岳会 学生部

日本山岳会学生部ザンスカール遠征隊 2017 にあたって

日本山岳会学生部では過去 13 年の間、6 回の未踏峰登山に挑戦し、素晴らしい成績を残してきて参りました。2014 年には井上由樹子隊長他 4 名がムスタンヒマールの未踏峰 Mansail 峰 6242m の初登頂に成功し、2015 年には真下孝典隊長他 5 名がネパール東部の未踏峰 Dzanye II 峰 6318m の初登頂に成功しています。この伝統を継承し、私たちは今回インドヒマラヤのザンスカール地方にある未踏峰の一つ L8 峰 6020m の登山許可を取得し、初登頂に挑戦することになりました。

ザンスカール地方はインド北西部に位置する高地で、チベット民族の文化が色濃く残っており、北東方向には広大なザンスカール山脈が横たわっています。私は、2015 年度に開催された「日本大学山岳部ザンスカール遠征隊 2015」のメンバーの一人として、ザンスカール地方にある未踏峰 T19 峰、T20 峰に挑戦しました。この遠征によって私は初めての海外登山の経験を積めただけでなく、現地のチベット仏教の文化や人々との交流し、自身の視野や知見を広げることが出来ました。しかし、この遠征の目的である未踏峰への初登頂は失敗に終わりました。この失敗という結果が、私を「もう一度ザンスカールに行きたい！未踏峰に登頂したい！」という気持ちにさせました。

今回の遠征では、L8 峰の登頂のみならず、チベット地方の人々との文化交流の一端となれたらと考えております。このような趣旨をご理解いただき、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

日本山岳会学生部ザンスカール登山隊 2017 隊長 高根澤亮太

■概要

- 隊の名称： JAC 学生部ザンスカール遠征隊 2017
JAC STUDENT'S ZANSKAR EXPEDITION 2017
- 目 的： 学生らしい探究心をもった登山を実践する
チベット地方の文化の理解を深める
- 目的の山： IMF Route for 104 Open Peak List in J&K No. 40
P6020 (L8 峰) LAT33.09.24 LOG77.02.14
- 期 間： 平成 29 年 8 月 16 日 (水) ~9 月 13 日 (水) (予定)

■行動日程

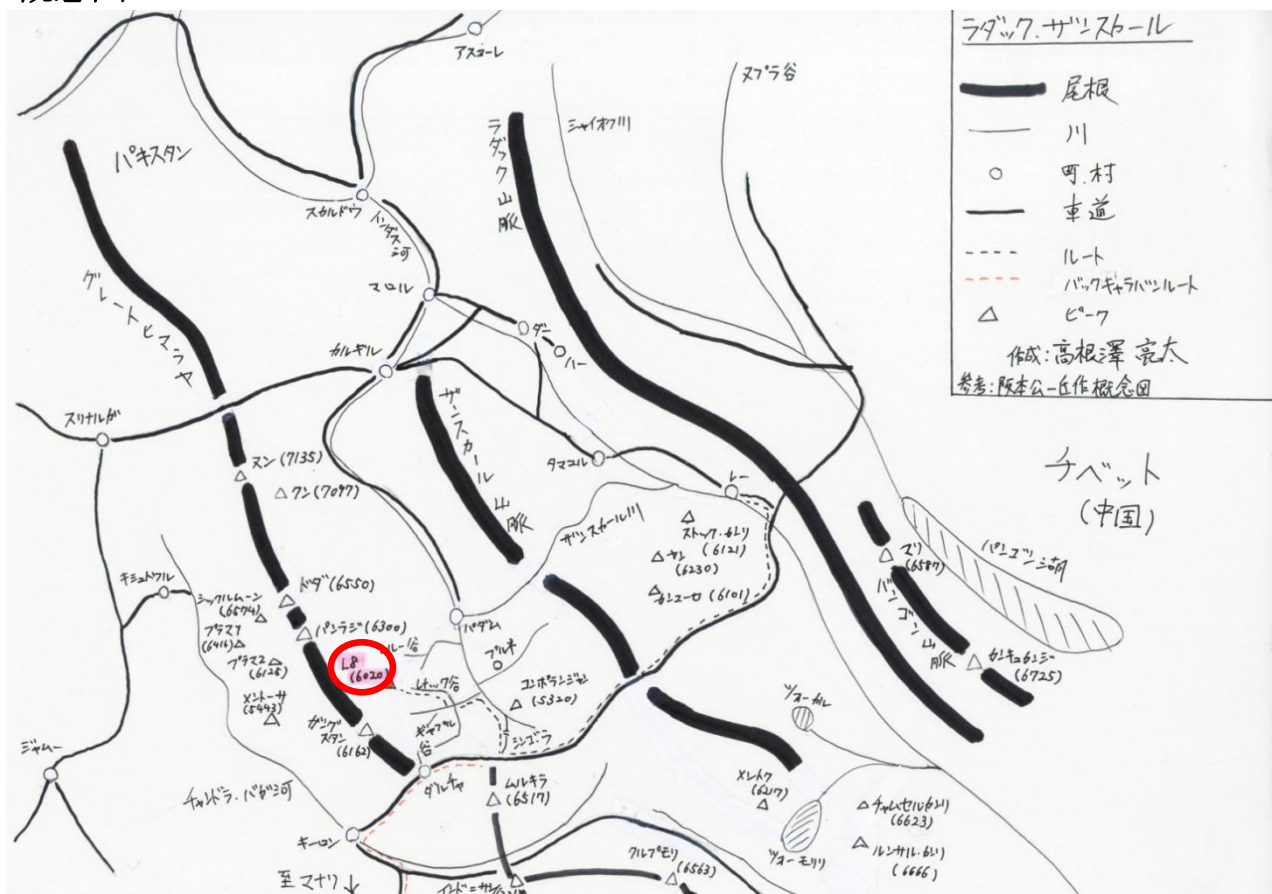
- 8 月 16 日 日本 (成田) ~デリー
8 月 18 日 デリー~レー
8 月 19 日 レー~
8 月 25 日 レナーク谷着・BC 建設
9 月 1 日 L8 峰の登頂

- 9月6日 レナーク谷発
- 9月10日 シミラ着
- 9月11日 デリー着
- 9月12日 デリー発
- 9月13日 成田着

■ 隊員

隊長・食糧	高根澤亮太 (21)	日本大学	栃木県 黒磯高等学校出身
副隊長・装備	西田由宇 (21)	東海大学	東京都 日本学園高等学校出身
医療・渉外	江口岳志 (21)	東京医科歯科大学	神奈川県 栄光学園高等学校出身
会計・記録	宮地聡 (23)	東海大学	神奈川県 逗子開成高校出身
現地スタッフ	ガイド1名、リエゾンオフィサー1名、コック、キッチンボーイ、馬方		

■ 概念図



■ 予算

収入	隊員個人負担金	2,000,000 円
	寄付金	1,500,000 円
	日本山岳会 YOUTH CLUB	500,000 円
	計	<u>4,000,000 円</u>
支出	装備費・食糧費・医療費	600,000 円
	輸送費	100,000 円
	交通費・航空券代	400,000 円
	保険料	250,000 円
	出版費	500,000 円
	現地エージェントへの支払い	1,500,000 円
	登山料	150,000 円
	現地経費	200,000 円
	雑費	200,000 円
	予備費	100,000 円
	計	<u>4,000,000 円</u>

※この登山隊は株式会社ゴールドウイン社様からの助成を予定しています。

■ 連絡先

国内) 「日本山岳会学生部ザンスカール遠征隊 2017」事務局
102-0081 東京都千代田区四番町 5-4 サンビューハイツ四番町 公益社団法人日本山岳会内
電話 03-3261-4433 Fax 03-3261-4441

海外) 現地エージェント

Hidden Himalaya

21 Hemis Complex, Zangsti, Upper Tuckche Roda Leh, Ladakh, J & K, India

担当 : Mr. Tsewang Yangphel、Mrs. Sachi Joko